

(別紙様式)

(A3判横)

平成31年度学校自己評価システムシート (県立川越工業高等学校 定時制)

| | |
|--------|-------------------------|
| 目指す学校像 | 社会の変化に主体的に対応できる能力を育成する。 |
|--------|-------------------------|

| | |
|------|---|
| 重点目標 | 1 基礎学力の定着を図る。 2 地域社会や家庭との連携を推進する。 3 進路実現を目指す。 |
|------|---|

| | | |
|-----|---|-------------|
| 達成度 | A | ほぼ達成(8割以上) |
| | B | 概ね達成(6割以上) |
| | C | 変化の兆し(4割以上) |
| | D | 不十分(4割未満) |

※学校関係者評価実施日とは、最終回の学校評価懇話会を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする。

| | | |
|-----|----------|-----|
| 出席者 | 学校関係者 | 8名 |
| | 生徒 | 6名 |
| | 事務局(教職員) | 14名 |

※重点目標は3つ以上の設定も可。重点目標に対応した評価項目(年度達成目標を意味する。)は複数設定可。
 ※番号欄は重点目標の番号と対応させる。評価項目に対応した「具体的方策、方策の評価指標」を設定。

| 学 校 自 己 評 価 | | | | | | | |
|-------------|--|--|---|---|---|-----------------|--|
| 年 度 目 標 | | | | 年 度 評 価 (2 月 1 日 現 在) | | | |
| 番号 | 現状と課題 | 評価項目 | 具体的方策 | 方策の評価指標 | 評価項目の達成状況 | 達成度 次年度への課題と改善策 | |
| 1 | 【現状と成果】 ・特色ある教育課程(普通、電気、機械)を実施している。 ・多様な生徒が在籍し、分かる授業に全体で取り組んでいる。 ・各種検定試験による資格取得に積極的に取り組んでいる。 【課題】 ・積極的な学習態度の育成。 ・10年後を見据えた教育内容の策定の開始をする。 | ・全体での授業づくりを進める。 ・特色ある現行教育課程(普通、電気、機械)を踏まえ、新教育課程を研究・策定する。 | ①教員相互の授業観察を実施する。 ②主体性を育む授業の研究・協議会、各年次研修の研究授業・協議会を実施する。 ③学習サポーター、多文化共生推進員、各種検定試験を活用し、生徒の能力の伸長を図る。 ①教育課程委員会を中心に研究を進める。 | ①②アンケートの肯定的回答。 ①教員全員が、科・教科・世代の枠にとらわれずに、授業観察に取組めたか。 ②意見交換が活発に行われたか。 ③校内の連携を深め、きめ細かな取り組みとなったか。 ①令和2年度5月新教育課程(仮)提出に向け進めることができたか。 | 全体での授業づくりが進んだ ①②アンケート肯定的回答、大幅増。 ①11/5(火)～29(金)教員相互の授業観察を実施。原則1講座以上観察後、観察シートを完成し、企画委員会で保管。 ②研究授業6講座、研究協議3回実施し、活発な意見交換を実施。 ③学習サポーター(大学生4名)、多文化共生推進員(日本語指導対象3名)、検定(国語、数学、電気、機械)の取組で生徒の能力をフォローアップ。 R4年度入学生教育課程を完成 ①活発な意見交換、計画的に完成 | A | ①②本校定時制に合った授業づくりの取組を今後も模索・実施する。 ①教育課程の研究を、他校訪問等を実施し、今後も進めていく。 ①来年度は、新学習指導要領の「評価」の部分について、全員で研鑽を深める。 *本校定時制の未来像を策定し教育活動を創造する。 |
| 2 | 【現状と成果】 ・HPを活用し、定時制ニュース、毎日の給食、定時制PTA・星夜、を掲載している。校内へも、定時制生徒会活動情報・星空を発行している。 ・外部の教育機関の教育活動への活用を実施している。 【課題】 ・保護者や外部の方々に御覧いただける教育活動を周知し、来校者の増加を図る。 | ・開かれた学校づくり | ①外部の教育機関、外部の専門機関の本校定時制教育活動への活用を図る。 ②学校行事への案内を発信し、保護者や外部の方々の参加を促進する。 ③HPの更新回数を増加させると共に内容について充実を図る。 | ①外部の教育機関、外部の専門機関との連携ができたか。 ②保護者の方や外部の方の参加が増加したか。 ③HPを通じて、定時制の取り組みを、外部へ発信することができたか。 | 外部機関を教育活動に活かせた ①定時制の組織(特別支援教育推進委員会、自立支援委員会)、教育活動(普通科「総合的な探究・学習の時間」)を中心に、外部機関と連携し、生徒の成長支援に資した 教育活動の情報発信が増加した ②体育祭、工業祭及び学校公開の案内を保護者に配布した。 ③HP「定時制ニュース」更新(2/1)29年度11回⇒30年度89回⇒元年度180回 | A | ①外部機関との連携は、年々進行・定着し、教育活動に活かしている。 ②外部の方の本校教育活動への参観について、検討を進める。 ③ネットコソゾの全県刷新(来年度当初)に対応し、新しいHPづくりをし、情報発信の態勢を整える。 |
| 3 | 【現状と成果】 ・生徒指導件数が減少している。 ・多様な個性を持つ生徒の支援を組織的に実施している。 【課題】 ・これまでの成果を踏まえ、年次、生徒指導部、特別支援委員会、進路指導部、自立支援委員会、等で連携し、卒業後自立した社会人として活躍できるよう生徒を支援・指導する。 | ・規律ある生活態度を育成すると共に課題のある生徒の状況を理解し支援する。 ・組織間で連携し、生徒の卒業後の自立を指導支援する。 | ①声掛け運動(登下校時・校内巡回等)を実施する。 ②各年次、生徒指導部、特別支援教育推進委員会を中心とし、情報共有、理解、支援を行う。 ①進路説明会の積極的参加、インターン活用、面接・履歴書指導、等早めの指導を行う。 ②自立支援委員会との連携による総合的な探究・学習の時間で実施する。 | ①出席率が向上し、規律ある授業を維持しているか。 ②情報共有、理解、支援を進められているか。 ①個々の生徒に応じた進路指導が実施されているか。 ②総探・総学の時間や委員会で工夫ある取組みが実施できたか。 | 情報共有を図り、指導・支援を実施 ①出席率は86.1%で昨年度と同等で、落ち着いた授業環境であった。 ②年次、生徒指導部、特別支援教育推進委員会で指導支援・連携し、場合により全体で情報共有を実施した 進路指導とキャリア教育、両輪で支援 ①就職支援アドバイザーと連携し、早めの指導を実施。就職内定21名、縁故3、四大2名、専門1名。 ②キャリア教育の視点で社会人講演会計13回、講演者34名で実施。 | B | ①授業規律が確立し、落ち着いた授業環境となっているので、今後も維持する。 ②課題のある生徒を全体で共有できる取組みを実施する。 ①生徒の自立を支援する取組みを今後も実施する。 |

| |
|---|
| 学校関係者評価 |
| 実施日 平成2年2月6日 |
| 学校関係者からの意見・要望・評価等 |
| <ul style="list-style-type: none"> 「教員相互の授業観察」の取組に感心した。企業でもトップダウンでなく、ピアサポートの考え方から、尊敬し合う同僚間で学び合うことが始まっている。(評議員) 本校定時制が、生徒保護者のセイフティネットとして機能していると強く感じた。そこが、未来像づくりのヒントになるのでは、と感想を持った。(評議員) 本校定時制の特色をもっと知ってもらいたい。ポスターをつくるのはどうか。単位制、授業づくり、SC、SSW、先生方の面倒見の良さ、など外に向けてPRするのはどうか。(定時制PTA理事) 在籍生徒に、どのようにして定時制を知ったのか、アンケートをとるのはどうか、集計結果が、生徒募集のヒントになると思う。(全日制PTA会長) 進路指導とキャリア教育がバランス良く実施されていると感じた。(学校評議員) 授業はITを使用したり、分かりやすい。時々ITの調子が悪くなるのが気になる。(生徒) 授業は分かりやすい。理由があり休むが、担任の先生がフォローしてくれ感謝している。(生徒) 駐輪場に照明設備がほしい(生徒) |